

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	伊勢理容美容専門学校
設置者名	学校法人 伊勢整容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	160 単位時間	160 単位時間	
	美容科	夜・通信	160 単位時間	160 単位時間	
	美容修得者科	夜・通信	80 単位時間	80 単位時間	
	理容修得者科	夜・通信	80 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	伊勢理容美容専門学校
設置者名	学校法人 伊勢整容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	（現職）美容専門学校 理事長	2025 年 5 月 26 日～2029 年 5 月 25 日	組織運営体制への チェック、アドバイ スをもらう。
非常勤	（現職）市議会議員	2025 年 5 月 26 日～2029 年 5 月 25 日	組織運営体制への チェック、アドバイ スをもらう。
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	伊勢理容美容専門学校
設置者名	学校法人 伊勢整容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
《シラバスの作成過程》 各科目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《作成時期》 12月シラバス作成依頼 1月～2月シラバス検討会議で検討・点検・修正 3月末までに作成を終える。 《公表時期》 4月に公表している。	
授業計画書の公表方法	学校事務所に備え付け閲覧希望者には随時公表する
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
《学習の評価》 ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で 100 点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は 5 段階評価を行っている。 1（0～39 点）、2（40～59 点）、3（60～79 点）、4（80～90 点）、5（91～100 点） ・学科については出席日数が 3 分の 2 以上、実習については出席日数が 5 分の 4 以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が 60 点以上であるものを合格とする。 《履修認定の基準》 すべての科目が 60 点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が 60 点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。	
3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
・成績の分布状況の把握に関しては、個人の全科目の試験で得点した点数（100 点満点）の合計点の平均を算出する。 ・算出した平均点を 6 段階の指標の数値（～49 点、50～59 点、60～69 点、70～79 点、80～89 点、90～100 点）に分類し成績の分布状況を把握した上で、下位 4 分の 1 に該当する人物を算出する	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

《卒業認定の基準》

すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき内部会議で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	伊勢理容美容専門学校
設置者名	学校法人 伊勢整容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
収支計算書又は損益計算書	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
財産目録	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
事業報告書	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
監事による監査報告（書）	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門	理容		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	2010 単位時間	660 単位 時間	単位時間 /単位	1350 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			2010 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人		44 人	0 人	3 人	42 人	45 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4月に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 《学習の評価》 ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。

・通知表への評価は５段階評価を行っている。 1（０～３９点）、２（４０～５９点）、３（６０～７９点）、 4（８０～９０点）、５（９１～１００点） ・学科については出席日数が３分の２以上、実習については出席日数が５分の４以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が６０点以上であるものを合格とする。 《履修認定の基準》 すべての科目が６０点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が６０点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 《卒業認定の基準》 すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき内部会議で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。
学修支援等
（概要） 60 点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	18 人 (90%)	2 人 (10%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 理容店に就職			
（就職指導内容） ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の理容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡を取り、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施			

(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師免許 色彩技能パーソナル検定(モジュール1) JNAジェルネイル初級検定 ゼロテクアンバサダー資格(カラーリング資格)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	7 人	15%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「理容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。 教育相談員による教育相談を個人面談にて行い、学校生活での悩み等の相談ができる機会をつくっている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門課程	美容	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2010 単位時間	660 単位 時間	単位時間 /単位	1350 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		46 人	0 人	3 人	42 人	45 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4 月に公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 《学習の評価》 ・学期ごとに実施する学科(講義)及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で 100 点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は 5 段階評価を行っている。

1（0～39点）、2（40～59点）、3（60～79点）、 4（80～90点）、5（91～100点） ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 《履修認定の基準》 すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 《卒業認定の基準》 すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき内部会議で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。
学修支援等
（概要） 60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	1人 (4.7%)	18人 (85.8%)	2人 (9.5%)
（主な就職、業界等） 美容店、エステサロン、まつげエクステンションサロン等、美容関係に就職			
（就職指導内容）。 ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の美容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きにいくか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡を取り、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施			

(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許 山野流着付師認定証(初伝・中伝・奥伝) 色彩技能パーソナル検定(モジュール1) 全日本ブライダル協会ブライダルビューティープランナー認定証 JNAジェルネイル初級検定 まつげエクステABEアシスタントディレクター アイブロウトリートメント検定3級 ゼロテクアンバサダー資格(カラーリング資格)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	2 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「美容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。 教育相談員による教育相談を個人面談にて行い、学校生活での悩み等の相談ができる機会をつくっている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門課程	美容修得者科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼間	1020 単位時間	330 単位 時間	単位時間 /単位	690 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			1020 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
5 人		2 人	0 人	3 人	19 人		22 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4 月に公表している。
成績評価の基準・方法

(概要) 《学習の評価》 ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は5段階評価を行っている。 1（0～39点）、2（40～59点）、3（60～79点）、4（80～90点）、5（91～100点） ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 《履修認定の基準》 すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。
卒業・進級の認定基準
(概要) 《卒業認定の基準》 すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき内部会議で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。
学修支援等
(概要) 60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) すでに美容師の免許を取得しているため、理容店のみならず、美容店、エステサロン、まつげエクステンションサロン等、美容関係にでも就職することができる。			
(就職指導内容) ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の理容・美容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡を取り、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。			

・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師免許
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「理容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。 教育相談員による教育相談を個人面談にて行い、学校生活での悩み等の相談ができる機会をつくっている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門課程	理容修得者科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	1020 単位時間	330 単位 時間	単位時間 /単位	690 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1020 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25 人		19 人	0 人	3 人	22 人	25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4 月に公表している。
成績評価の基準・方法

(概要) 《学習の評価》 ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で 100 点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は 5 段階評価を行っている。 1（0～39 点）、2（40～59 点）、3（60～79 点）、 4（80～90 点）、5（91～100 点） ・学科については出席日数が 3 分の 2 以上、実習については出席日数が 5 分の 4 以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が 60 点以上であるものを合格とする。 《履修認定の基準》 すべての科目が 60 点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が 60 点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。
卒業・進級の認定基準
(概要) 《卒業認定の基準》 すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき内部会議で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。
学修支援等
(概要) 60 点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) すでに理容師の免許を取得しているため、美容店、エステサロン、まつげエクステンションサロン等、美容関係のみならず理容店にも就職することができる。			
(就職指導内容)。 ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の美容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きにいくか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡を取り、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。			

・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許 まつげエクステABEアシスタントディレクター アイブロウトリートメント検定3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「理容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。 教育相談員による教育相談を個人面談にて行い、学校生活での悩み等の相談ができる機会をつくっている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理容科	200,000 円	636,000 円	246,000 円	教育充実費・年間維持費
美容科	200,000 円	636,000 円	246,000 円	教育充実費・年間維持費
美容 修得者科	150,000 円	636,000 円	231,000 円	教育充実費・年間維持費・ 教科書代
理容 修得者科	150,000 円	636,000 円	231,000 円	教育充実費・年間維持費・ 教科書代
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
--

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
●評価項目は教育理念・目標、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、生徒募集、財務、法令の遵守、社会貢献とし、自己評価を実施する時期は、原則として毎年度11月とする。 ●学校長が委嘱した当該学校教職員でない関連業界関係者・卒業生・保護者・教育に関する有識者等（3名以上）で構成される学校評価委員会を設置する。 ●評価委員会では、学校が実施した自己評価をもとに、教育活動、運営全般に対しての意見・助言を話し合い、改善、向上を図る。 ●評価結果を活用し、新年度には目標をもとに改善・実行、年度末までに評価・点検を行い新たな目標を設定する。 ●評価の活用は学校長が責任者となり実行する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室オーナー	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連業界関係
理容室オーナー	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連業界関係
伊勢市議会議員	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	教育に関する有識者
学校関係者評価結果の公表方法 学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ise-riyoubiyou.jp/
--